

発行所 愛知県山岳連盟
 発行人 安藤武典
 編集人 中平等 新一
 名古屋市天白区中平3-1902
 TEL&FAX 052-802-8062

◇ 9月30日～10月1日 救助技術講習会研修会(鈴鹿山系) <http://www.geocities.co.jp/Athlete/1653/>

段戸裏谷「きららの森」で自然観察会



平成29年度指導員総会開催

岳連事業に指導員の協力不可欠!

平成29年度愛知県山岳連盟指導員総会が、6月27日(火)午後7時より県スポーツ会館に於いて開催された。

最初に木田光彦指導委員長が「昨年度は岳連事業にご尽力有難うございました。今年度から日山協の名称が変わり、また指導員の資格改訂など検討されています。今年もご協力をお願いします。」と挨拶があつて議事に入った。

まず、平成28年度事業報告会計報告があり承認。つづいて29年度事業計画が次のように発表された。

- ・ 7月11日(火) 気象遭難対策講習会(県スポーツ会館)
- ・ 7月22～23日(日) スポーツクライミング確保講習会(国立登山研修所)
- ・ 8月20日(日) 少年少女登山教室(朝明溪谷)
- ・ 9月19日(火) 登山勉強会(豊橋)
- ・ 9月23日(祝) 県民登山教室(本宮山)
- ・ 9月26日(火) 登山勉強会(県スポーツ会館)
- ・ 9月30～10月1日(日) 救助技術講習会(鈴鹿山系)
- ・ 10月28日(土) 県民登山教室(鈴鹿山系)
- ・ 10月28～29日(日) 山の日を

祝う会(北谷小屋)

・ 11月11日(土) 読図講習会(大高緑地)

・ 1月16日(火) 指導員集会(豊橋)

・ 1月30日(火) 指導員集会(県スポーツ会館)

・ 2月17～18日(日) 岳連親睦雪山ハイク・スキー大会(場所未定)

・ 2月24～25日(日) 冬山技術講習会(大日ヶ岳)

・ 2月13日(火) 登山勉強会(豊橋)

・ 2月20日(火) 登山勉強会(県スポーツ会館)

・ 3月3日(土) 愛知山岳マラソン2018(猿投山)

以上について説明があり、引きつづき次の事項について協議された。

まず、現在登録されている指導員の動向。近々指導員の名称の改訂、ハイキングリーダー(夏山リーダー)の資格については、また名誉指導員についての把握ができていないため改めて見直す。

最後に30年度登攀技術講習会が愛知県が開催地となるため、宿泊・会場の確保について協力を願ひして、8時45分終了した。

猿投山で県民登山教室2017

初心者もコンパスの使い方マスター

第1回県民登山教室が5月20日(土)豊田市・猿投山に於いて実施されました。

参加者は、一般、役員、講師を含む17人で、河合芳尚氏(公認山岳上級指導員)に今回も講師をお願いしました。

午前9時、登山者用駐車場で開講式を行い、その後お寺の境内で、地図アプリの使い方とブレイトコンパスの使い方を学びました。

まず、スマホに地図アプリ「ジオグラフィカ」をインストールし、現在位置がわかることを確認する。コンパスと紙地図だけに頼らず、使える物は利用する。

また、初心者用にブレイトコンパスの使い方(コンパス1・2・3)では、ワークシートを使いブレイトコンパスをセットして一定距離を進むことを繰り返して、スタート地点に戻る。

いよいよ実際に林道を歩いて、地図と実際の地形を照らし合わせ、実際の地形がどのように地図に展開されているかを講師が語ってくれました。お陰で特徴物(橋・沢・道の分岐・尾根・道の曲がり等)や現在位置の確認が少し

ずつできるようになりました。更に登山道に入って実際に地図の読み方を学びました。

配布された地図に赤丸で20ポイントが示されている。受講生は「一人ずつ先頭を歩き、目的のポイントで止まる」を繰り返して、スキルアップを図りました。

このように受講生らは講習を受け、コンパスの使い方もまったく知らなかった初心者も知らぬ間にコンパスセットができ、目的のポイントに進むことができるようになりました。

午後3時30分、スタート地点に戻り全員で写真を撮り、閉講となりました。

(岩瀬幹生)

登山教室に参加して

コンパスで山を楽しむ

星名 祐里

会社の友人に誘われ、登山初心者として愛知県民登山教室2017 実施教室1 豊田/猿投山に参加しました。今回の教室は、読図に特化した講習内容でした。

ブレイトコンパスの正しい使い方や等高線・尾根・沢など地図の読み方を、とても丁寧に教えていただきました。

猿投山に登る前に、ブレイトコンパスの使い方を実践的に学びました。それから実際に地図を読みながら猿投山の林道を進んでいきました。地図上の沢の地形と、実際に見る沢を見比べることができました。地図を読んでもこれからは歩く道を想像することはとても難しかったですが、新しい

段戸裏谷で自然観察会

観察で森の恵みを実感！

薫風そよぐ新緑の中、第40回自然観察会が5月21日(日)段戸裏谷きららの森で行われ、岳連会員21人が参加した。

午前9時30分段戸湖駐車場に集合、講師から今回のテーマ「樹々の観察」について説明があり、自然観察路を歩く。

途中、シヤクナゲの花や珍しい笹の花を見ながら、愛知高原国定公園段戸裏谷の碑で集合写真を撮り散策路に入る。

静寂な森の中でブナ、ミズナラなど多くの樹木の説明を聞き、バードウォッチングの人たちに気を配りながら、約2時間歩いて学んだ。11時30分、休憩広場で春の



森の中での学習

柔らかい風情に浸りながら昼食を摂り、しばし歓談をする。その後、駐車場に戻って改めて森の恵み、保全の大切さ

を認識し、次回の再会を楽しみに散会した。

観察会に参加して

樹木の特徴など学ぶ

岩倉山岳会

栗本 マツ子

私は岩倉山岳会に入部して3年目になりますが初めての参加です。山に登っていて、あまり樹木や草花の事がわからない事もありゆつくりと観察しながら、教えてもらう中で少しでも知識を得られたらという思いで、参加致しました。段戸裏谷は原生林というだけあって、今まで聞いた事のない樹木があり特に印象に残ったものが、ミズキ↓木を切ると水がパツと出るそうです。キハダ↓漢方薬として使われている。コバノトリネコ↓野球のバットとして使われている。ハナクギ↓昔は釘の代わりとして使用されていた。びっくりしたのは笹の花でした。笹って、葉っぱだけのイメージでしたので花が咲くという事すら知りませんでした。笹の花は平均70年に一度の周期で開花して、咲いた後は枯れてしまふとか……！何だか切ないような感じがした。貴重な花が見られたのはラッキーでした。しゃくなげ↓

葉の裏側が茶色になっているものはホンシヤクナゲで深山の岩場や尾根筋に生育する。コバウチワカエデ→葉の切り込みが浅くなっているなど、とても詳しく説明して頂きました。今回は草花などが終って残念でしたが、実際に見ながら手で触れてみるとわかりやすく、何よりゆっくりとしたペースで観察出来たのが、よかったです。

やまびこ山想会が五井山など清掃

5月27日(土)当会恒例の清掃山行が、三河の宮路山から五井山で実施され28人が参加した。

年に一度の山の清掃のこの日は、片手にゴミ袋、ザックのサイドポケットに「トンゲ」、こんな出で立ちで、さあゴミを拾う準備は整った。

登山口から緩やかな登りが続く宮路山。前日の雨で新緑はキラキラ輝いており、心地よい風が吹き気持ちよく歩くことができる。362mの宮路山頂上では三河湾、知多半島、渥美半島が見渡せた。

少し休憩をとり五井山に向う。約1時間の快適なハイキングコースで会話も弾む。454mの五井山頂上からは、海岸線にラグーナ、竹島や猿

が島がくっきり見え、その景色を楽しみながら普段よりのんびりと長めの昼食とする。

昼食後いよいよ清掃開始だ。宮路山→五井山までは登山者によるゴミは少ない。しかし、旧三河湾スカイライン沿いに歩くと、いわゆる不法投棄されたような家財のゴミが現れる。あつという間にゴミ袋が一杯になった。それでも皆んなせつせと歩きまわり、ゴミ拾いに努めた。

綺麗な山を気持ち良く歩けるようにと行われるこの行事は大切だ。今後とも年に1回だが清掃山行を楽しく続けて行きたい。

自然保護委員会伊吹山麓で蛭鑑賞会

第41回自然観察会が、6月3日(土)伊吹山山麓の旧山東町に於て蛭鑑賞会を行ない、5団体から8人が参加した。

当日はジョイ伊吹に19時集合、今年は春先の気温が低かったため、蛭の発生が遅れていないか懸念だったが、例年になく源氏蛭の乱舞を観ることができ、21時30分に鑑賞会を終え、現地解散となりました。

(自然保護委員 内藤善二)

印象に残った私の登山

13

聖山カイラス巡礼

SUNYOU倶楽部
小島 國男

中国チベットの奥地に凜と聳えるMt.カイラス(6714m)がある。

この山は独立峰で登山が許されない聖山とされており、その代わりに巡礼する山として宿泊地等が設けられチベット仏教の聖地として崇められている。

私は今から十年程前、還暦を過ぎてから中国新疆ウイグル自治区への興味が募り、パキスタン国境から西安迄を走破した。

そこには海拔高度がマイナスの都市があつて、そんな時に高さへの憧れが芽生えて富士山だけでは物足りず、技術もないものの海外登山への糸口も見つからずで5000mを越える高さはと探していた時にこの巡礼路の最高地点(ドルマ・ラ5670m)を知った。この計画は素案を旅行社に持ち込んで実現させ、私は高度順化のために富士山に登りツェルト泊で24時間の

滞在をした。

この巡礼は九月初旬に日本を出てから十日目にして歩き出すことが出来た。一周が57km、起点の村が4600mでコースの最高地点の高度が5670m、ガイドを伴う二泊三日が標準行程とされ、4950mのロッジが最高地点での宿泊地となり、各国から登山(巡礼)者が集まり、私もその一人となった。

結果に於いて一泊二日で回ることが出来たが無理が祟り高度障害は帰国後に出来た。この巡礼では厳しい登山技術は必要なかったが高齢での対応は後から応えてしまうものと体が教えてくれた。

それにしてもスペアタイヤ二本と二ダース程の水を積み込んでのチベット高原の走行(ランクル車)は道も無い悪路の連続と軍隊による関門統きの毎日で隣国と言えども随分遠い異国へ出かけてしまった旅になったと思つたものだ。私の拘りの高度はドルマ・ラであり、5670mの高さで今は懐かしい思い出になっている。

Renopoint

<http://www.renopoint.jp>

Original Wear & Goods

オリジナルウェア・CMウェア (広告掲載)

カジュアルユニフォーム&グッズ

デザイン・企画・制作

お気軽にお問合せ下さい。

特許出願 GLASS PERCH(グラスパーチ)

株式会社リノポイント

〒491-0835 愛知県一宮市あずら1-5-7

TEL:0586-58-5021

FAX:0586-58-5022

E-mail: ito@renopoint.jp

ビギナーから安心して選べる三河地区
エキスパートまで
のプロショップ

JR刈谷駅前

穂高

〒448 刈谷市桜町1-13

TEL0566(23)8611

定休日/火曜日

営業時間/10:00~20:00



登山用品豊富!

天気図作成講習会

高校生30人が真剣に受講！

天気図作成講習会が6月11日に安城市民会館で行われました。講師に高体連OBの田辺元祥先生を迎え、参加者の高校生30名が気象通報を聞いての天気図作成方法と予報知識についての講習を受けました。

スマホの普及に伴い気象通報を聞いて天気図を作成することはあまりやらなくなったように思いますが、高体連の登山大会では今でも天気図作成と予報の審査があります。参加した高校生は積極的に質問し、天気図作成に熱心に取り組んでいました。

(岩狭 満)

講習会を受講して

天気図を描く難しさ

岡崎高校登山部

井加田 透

今まで見過ごしていたことの重さを感じた講習会でした。特に印象深く残っているのは、実際に天気図を書いてみた時の、先生の解説です。普段より注意深く等圧線の描き方や予報を考えてみると、

天気図は天気予報などでは見たことがあります、自分で書ける物とも思っています。練習したので、初めての体験でした。

気象通報を聞き取るときは、少しでも気を抜くと聞き漏らしてしまうので大変でした。私は放送内容をメモするだけで精一杯でしたが、先輩は聞き取りながら直接地図に書き込んでいたので感心しました。

練習して天気図を書く

一宮工業高校山岳部

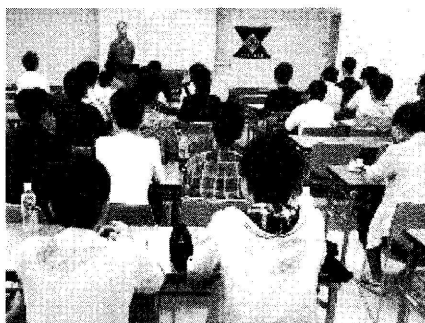
野田 勝誠

どのよう処理していいかわからない点がいくつも出てきました。先生はそれら一つ一つに丁寧に答えてくださいました。そのおかげで、まさしく「霧が晴れる」かのように美しい天気図になりました。そして天気図を描くことの難しさを改めて感じました。

今年は先輩がインターハイに出場することが決まりました。来年も出場できるような、今回学んだことを最大限に生かしてチームの一助となるために精進していきます。

した。等圧線を引くことは、慣れるとなんとなく分かるようになっていましたが、何もデータの無いところに等圧線を引くのがとても難しく感じました。

これをきっかけに、何度も練習して天気図が書けるよう頑張りたいと思います。



春山合宿を終えて

涸沢BCで涸沢・北穂へ

トヨタ自動車山岳部

川原田 健斗

今回の春山合宿は4泊5日の長期雪山登山。それにあったシステムや歩行訓練などトレーニング計画を作ってもらい、合宿までの1ヶ月半トレーニングをしっかりと行えた。

この合宿では食等の役割を任せられた。さて合宿当日。とても重い重さのザックを抱えて人生初となる上高地へ。山岳部に入る前から仲間と登山はしているものの、北アルプスは怖くて中々行けません。だが、山岳部に入り装備も買い替え、山の先輩達に教えてもらいながら今回の合宿へ望む決心をした。平坦な道のりを明神岳を横目にずしりと肩と腰にくる荷物の重さに耐え、横尾へ到着。

2日目も朝から快晴。涸沢まで登り、5・6のゴルでの雪上訓練。横尾から涸沢までは登りとなったので更に体が悲鳴をあげていた。鯉のぼりが見えてついに一度は来てみたかった涸沢へ到着、涸沢BCを設営。予定していた5・6のゴルでの雪上訓練は、雪庇落ちによる軽い雪崩が目立ったので場所を変え訓練しました。新雪だったため滑落停止訓練は断念したが、弱層テストやロープワークの再確認、アンカー構築などを行い明日からの山行きに備えた。夜は20cm程の積雪と風が凄かった。

3日目からは雪崩を恐れ早朝起床。天気は雨で視界が悪いのでピトンを刺しながら予定地の奥穂高へと向かった。

名古屋駅前の山用品専門店

駅前アルルス

〒450-0002

名古屋市中村区名駅4-4-10

名古屋クロスコートタワー 1F

TEL 052-565-1417

うなぎ錦三丁目 い ば しょう

いばしょう

〒460-0003 名古屋市中区錦三丁目13番22号

TEL <052> 951-1166 番

営業時間

午前 11:00～午後 2:30

午後 4:00～午後 8:00

定休日

日曜日・第二・第三月曜日

ザイテンの右側を直登したのだが、あまりにも急斜面で今までにない恐怖を覚えた。足場がしっかりと作れる雪面だったので順調に登って行った。稜線に着くと強風とみぞれが凄く奥穂高はあえなく撤退。代わりに距離の短い涸沢岳へと登頂。悪天候での登頂もいい経験となった。降りたBCでは部長の甘酒や部員の誕生日祝いをするなどプチ宴会をした。

4日目は晴れ。予定地の北穂へ向かう途中で、暑さで溶けた小さな雪塊がいくつも上から落ちてきた。退避場もないため隊列で声掛けを行い監視役を1人作って登って行った。苦労して登った北穂高では昨日とは打って変わり四方の山々が綺麗に見え、感動のなか何枚も写真を撮った。北穂山荘での休憩時に東稜からアタックしている別隊がとてまかつよく見えた。いつか登ってみたいと強く思った。

最後の夜は、テン横で北穂・奥穂・涸沢岳に囲まれて合宿の思い出を語り合った。天気の影響で予定変更があったものの無事に降りてきたことはとても大きい。今後ともしっかりと経験を積みもともと山男になれるように精進していきたい。

東海四県正副会長理事長会議

競技や参加依頼など情報交換！

会長 安藤 武典

平成29年度東海四県正副会長理事長会議が、6月17・18日静岡県焼津市で行われました。各県から会長、理事長ら8名が出席しました。

この会議は東海四県の役員が集まり、各県の活動状況や問題点を話し合い、それぞれの情報の共有化とコミュニケーションを図ることを目的に毎年各県持ち回りで実施しています。

議題は各県の情報から人の消息まで多岐にわたりましたが、今年度は静岡での中高年

安全登山講習会や三重のインターハイなどの全国大会への協力、岐阜県からは、御嶽の噴火後、二の池小屋の利用者が減り、存続のために利用のお願いなどの協力依頼がありました。

愛知県からは今年度の計画を含め、岳連の状況報告と富士山のスポーツクライミング(SC)の確保講習会などへの参加依頼をしました。

他県ではクライミング施設の設定も進んでおり、岐阜県のある企業のスピード競技施設

設、高校にクライミング施設の建設計画、三重県からはイオンにクライミング施設ができるなどの話。鈴鹿・台高山系での遭難事故報告(46件/年、愛知県民は高比率)、白山の登山届の条例化などいろいろな情報交換を行いました。会議後は、各県持ち寄りの美酒で懇親を深めました。東海四県は今後もコミュニケーションを豊かに協力し合える関係を維持していきたいと思っています。

各県の出席者は以下のとおりです。
△静岡岳連△滝田会長、木ノ内理事長△岐阜岳連△小木曾会長、塚原理事長△三重岳連△門山副会長、加藤副理事長△愛知岳連△安藤会長、高橋副会長

平成29年度理事

伊藤智彦(高体連) 木田光彦(アイシン精機) 水野史朗(イノアック) 永田昌美(岡崎山岳会) 岩瀬幹生(蒲郡山の会) 真崎翔(春日井山岳会) 磯野富士郎(嶺山岳会) 織田善夫(中京山岳会) 伊藤敦彦(中央アルパイン) 齊藤健一郎(トヨタ自動車) 井樋哲也(豊田自動織機) 森田金明(豊田山岳会) 河合芳尚(豊川山岳会) 永野起己(東海電々) 久保田正紀(名古屋山岳会) 大脇貴

弘(グルッペハイジ) 石原博之(名古屋溪稜会) 森辰夫(名古屋登校会) 荻須昭大(RC) 神戸和広(デンソー) 山下利明(ブラザー工業) 島航太郎(碧稜山岳会) 木村行宏(三菱電機名菱会) 畠山大樹(三菱重工名古屋大江) 佐藤春彦(三菱重工名誘) 鎌倉源助(日本山岳会東海支部) 田中芳晴(名古屋遠い松) 十倉崇行(愛知県庁) 野間修(安城こもれび会) 中山秀樹(豊橋山岳会) 朝賀敬一(名古屋A) 有馬一夫(愛知山岳会) 鈴木清彦(愛知学院大学) 長

田知恭(愛知医科大学) 羽田明史(GSA) 森あかり(千種アルパイン) 鴨川亮平(MMC岡崎) 野口和人(犬山山岳会) 内藤善一(やまびこ山想会) 杉本宏一(名古屋山桂会) 山田義清(山歩の会) 片田保彦(岩倉山岳会) 西山秀夫(東海白樺山岳会) 笹岡庄蔵(銀嶺山友会) 中村久(名古屋愛山会) 辻雅彦(FRC) 酒井彰彦(三河くらぶ) 渡邊正輝(チーム猫屋敷) 小島彰浩(まつたり山楽会) 小島國男(サンユー倶楽部) 須澤篤(愛知スポーツクライミング)

建設業許可を取りたい、日本国籍を取得したい(帰化)、遺言を公正証書で作成したい、戸籍謄本や除籍謄本を代行取得して欲しい、任意成年後見の相談をしたい、会計記帳を頼みたい等々

ご相談は行政書士の西山秀夫へ

〒460-0002 名古屋市中区丸の内3丁目21番21号
(地下鉄・久屋大通駅から徒歩2分) 丸の内東桜ビル1004号室

TEL: 090-4857-9130

URL: <http://www.nygs-office.com/>

CLIMBING PARK

東三河初のクライミング施設



<http://climbing-park.com>

☎0532-26-3737

MONTANA

住所: 愛知県豊橋市関屋町138番地

住所: 愛知県豊橋市萱町5番地 ☎0532-55-0125 <http://www.montania.jp>

夏山は 雷にご用心！

雷は、雷雲の位置次第で、海面、平野、山岳などところを選ばず落ちます。ただ近くに高いものがあると、これを通って落ちる傾向があります。避雷針は、この傾向を利用して、近くに落ちる筈の落雷を、積極的に引き受け、落雷電流を安全に大地に流し込む装置です。避雷針は、このようにして建物を火災や損壊から守る働きをします。高い物ほど落雷を引き寄せる効果が大きく、高さが同じならば、鉄塔も高い立木も、落雷を引き寄せる効果は同程度と考えられます。この落雷を引き寄せる効果が及ぶ範囲は比較的狭く、その物体の高さと同距離くらい範囲です。人体の場合、二人並んでいると背の高い人に落雷する例が多くなりますが、野球場、サッカーグラウンド、テニスコートなどにプレーヤーが散在すると、身長とはあまり関係がなくなり、誰に落ちるか全く予測できません。

高さ30m以下の塔、マスト、煙突、樹木などは、その根元を中心に高さを半径とする円を描くと、この円内に落ちる筈の落雷は、これらの物体の

頂上に吸引され、円内は直撃の危険が小さくなります。高さが30m以上になると、安全圏の半径は、高さに応じて有効に増加することがなくなり、30m以上はあまり大きくは広がりません。100m、200mと非常に高くなると、今度は塔や建物の側面に落雷する場合があります。

林や森では高い木に落雷する可能性が高く、安全とはいえません。このことは林や森の入口付近だけでなく、林や森の中に入っても同じです。林や森の中ではどの木が高いかわかりません。もし、雷の

激しいときに林や森の中にいるときは、木がまばらなところを選んで、幹だけでなく枝先、葉先からできるだけ離れて姿勢を低くして、雷雨が通り過ぎるのを待って下さい。

林や森のへりの付近にいるときは、すみやかに林や森から離れて、安全な場所に移動して下さい。

また、配電線や送電線は、電気をよく通す導体でできており、雷が接近した場合に、それに雷をひきつける避雷針と同じ効果があるので、配電線や送電線の下は十分安全です。

常任理事会

▼7月4日(火) OMCビル

(出席者) 安藤会長、高橋副会長、北村理事長、岩瀬理事、谷澤、多田、岩狹、高木、有富、中平等顧問

I 報告事項

1. 天気図作成講習会 (6/11 安城) 岩狹
2. 確保技術講習会・研修会 下見 (6/11 御在所岳) 高木
3. 東海四県正副会長、理事長会議 (6/17・18 静岡) 安藤
4. 確保技術講習会・研修会 (6/17・18 北谷小屋周辺)
5. 東海総体 (6/16・18 三重県明朝茶屋) 御在所岳中

道

6. 指導員総会 (6/27 県スポ) 高木

II 審議・お知らせ事項

1. 全国山岳遭難対策協議会 (7/8 東京) 高橋
2. 気象遭難対策講習会 (7/11 県スポ) 有富
3. 東海ブロック大会 (7/15・16 浜松) 北村
4. スポーツクライミング確保講習会 (7/22・23 富山) 保講習会 (7/22・23 富山)
5. 第1回Jrクライミング講習会 (8/8 ビッグロック)
6. 第2回Jrクライミング講習会 (8/9 ビッグロック)
7. 全国高等学校登山大会 (7/30・8/3 山形)
8. 第56回全国登山大会 (7/6・8 北海道)

お知らせ

◎新規加盟団体紹介

愛知スポーツクライミングクラブ

・代表 倉 要
・理事 須澤 篤
・事務局 〒448-0824
刈谷市天王寺4-71-3
TEL 0566-28-4521

◎次回理事会は
10月24日(火)です

月 日	内 容
9. 5	常任理事会 (OMCビル)
9.12	県民登山教室 (机上勉強会) 県スポーツ会館
9.19	第2回登山勉強会 (豊橋) 9.26 県スポーツ会館
9.23	県民登山教室② (本宮山)
9.22~24	中高年安全登山指導者講習会 (静岡)
9.30~10.1	救助技術講習会・研修会
9.30~10.3	第72回国民体育大会 (愛媛)
10. 3	常任理事会 (OMCビル)
10.14	Jrクライミング記録会 (ロックドラムカー)
10.21~22	高体連秋期登山講習会 (釈迦ヶ岳)
10.24	鈴鹿山系連絡協議会 (三重県)
10.28	第3回理事会 (県スポーツ会館)
10.28	県民登山教室③ (鈴鹿)
10.28~29	「山の日」を祝う会 (鈴鹿・北谷小屋)



観光庁長官登録旅行業第490号/(社)日本旅行業協会正会員

アルパインツアーサービス

海外トレッキング/世界の山旅 専門旅行会社

まずは「ツアーカタログ」ご請求下さい

個人&グループでのご利用お待ち申し上げます

名古屋営業所 TEL: 052-581-3211

〒450-0002 名古屋市中村区名駅3-23-2 第3千禧ビル3階

FAX: 052-561-8338 E-mail: nagoya@alpine-tour.com

ホームページ <http://www.alpine-tour.com>

◆9・10月スケジュール